

11月定例会の概要

11月28日～12月23日

11月定例会では、秋田市大森山動物園条例の一部を改正する件などの条例案16件、予算案17件および単行案5件を全て可決しました。また、陳情2件を採択、1件を一部採択しました。さらに、人事案1件に同意したほか、議員提案による意見書案1件を可決しました。

予算

ツキノワグマ被害防止対策事業

有害鳥獣駆除捕獲対策事業

①有害鳥獣駆除捕獲活動の体制強化

鳥獣被害対策実施隊の活動に係る交付金を増額するとともに、緊急銃猟時の安全確保に必要な物品を購入します。

931万6千円

②誘引果樹の伐採等費用への補助

個人または町内会に対し、誘引果樹である柿や栗の伐採等に要する費用の一部を補助します。

補助率 2分の1以内
上限 2万5千円
250万円

千秋公園ツキノワグマ出没防止対策事業

千秋公園内の樹木の伐採および雑草木の除去を行うほか、公園利用者の安全を確保するため、自動撮影カメラを設置します。

1千100万1千円

※10ページに関連記事掲載

飲食店応援消費喚起ポイント還元事業

物価高騰等の影響を受ける市内飲食店を支援するため、キャッシュレス決済の利用者に対し、ポイント還元を行います。

還元率 支払い金額の20%
還元上限 1回当たり上限2千円相当、期間内上限5千円相当

還元総額 2億円

対象期間 8年2月から3カ月間（予算に達し次第終了）

2億3千575万円

※10ページに関連記事掲載

秋田駅前大型商業施設消費喚起支援事業

秋田駅前の大型商業施設が連携して実施する販売促進事業に対し、補助します。

3千万円

清酒製造業者支援事業

原料米の価格高騰の影響を受ける市内清酒製造業者に対し、7年産米仕入れ価格の高騰分の一部を補助します。

1億206万5千円

物価高対応子育て応援手当支給事業

児童手当支給対象児童を養育する父母等に対し、子ども1人当たり2万円を支給します。

対象児童数 約3万8千300人
7億8千913万4千円

福祉灯油購入費助成事業

7年度市県民税非課税世帯に対し、生活支援として燃料費等の一部を助成します。

対象 約4万2千世帯
助成額 1世帯当たり6千100円
3億2千617万3千円

雄和市民サービスセンター大規模改修事業

施設の大規模改修に必要な構造設計を委託します。

149万9千円

高齢者コインバス事業

秋田中央交通が7年10月1日からバス運賃を改定したこと、満65歳以上の高齢者が利用するシニアアキカに係る負担金を増額します。

3千171万9千円

「美術館の街」活性化事業

8年4月および8月からの展覧会開催に向けて、7年度内に実行委員会を組織し、企画・PRを行います。

①秋田朝日放送との実行委員会主催
tupera tupera展
8年4月25日から7月5日まで

②秋田魁新報社との実行委員会主催
三十六歌仙展
8年8月1日から9月23日まで

債務負担行為設定
2千750万円



『パンダ銭湯』
(2013年、絵本館)
©tupera tupera

浸水対策下水道事業

古川雨水排水ポンプ場の遠方監視制御設備および八橋田五郎雨水排水ポンプ施設について、9年度からの稼働に向けて、7年度内に工事発注を行います。

債務負担行為設定
5億1千万円

◆ 賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

件名	議決結果	秋水会					自民党					フロンティア秋田				公明党		そうせいと維新			共産党	市民ク	市み	議長									
		萩原貴幸	細川信二	見上万里子	佐藤宏悦	伊藤一榮	渡辺喜美雄	小本礼克年	工藤潤平	工藤知彦	安井正浩	伊藤巧重	熊谷隆	菅原琢哉	小野寺誠	後藤良	船木純	藤枝信博	工藤新一	倉田芳浩	小林一夫	佐藤佳人	牧野守子	武田正秀	石塚秀博	藤井翼	菊地格夫	若松尚利	小松健	奈良順子	佐藤純子	安井誠悦	花田清美
議員提出	最高裁判決に基づく全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置の実施に関する意見書提出の件	否決		×					×					欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○								×	○	×
	小・中学校給食費の完全無償化を実現するための財政支援に関する意見書提出の件	可決		×					×					欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	議
請願	高齢者の終活をめぐる公的支援の実施について	1項不採択		×					×					欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○							×	○	×	
		2項不採択		×					×						欠	○	○	○	○	○	○	○	○							×	○	×	
陳情	ケア労働者の処遇改善のために報酬10%以上の引上げを求めることに関する意見書の提出について	不採択		×					×					欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×		○	×	○	議	
	夜勤規制と大幅増員による安全安心の医療・介護の実現に関する意見書の提出について	不採択		×					×					欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×		○	×	○	議	
	介護保険制度の抜本改善及び介護従事者の処遇改善に関する意見書の提出について	不採択		×					×					欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×				○	×	○	×	○	議
	最高裁判決に基づく全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置の実施に関する意見書の提出について	不採択		×					×					欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	×	○	×
	小・中学校給食費の完全無償化を実現するための財政支援に関する意見書の提出について	採択		×					×					欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	議
	集団のつきまとい犯罪の周知に関する陳情書	1項不採択		×					×						欠	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		○	×	○	議	
		2項不採択		×					×						欠	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		○	×	○	議	
		3項不採択		×					×						欠	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		○	×	○	議	
		4項不採択		×					×						欠	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		○	×	○	議	
	小・中学校給食費の完全無償化の早期実施について	不採択		×					×					欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×						○	×	○	○	議
学校給食費の無償化と安全な地場農産物の活用について	1項採択		×					×						欠	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	議	
	2項採択		×					×						欠	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	議	
公共施設保有量の見直しについて	1項採択		×					×						欠	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	議	
	2項不採択		×					×						欠	×	×	×	×	×	○	○	○						○	×	○	○	議	
	3項採択		○					×						欠	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	議	
適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止に関する意見書の提出について	不採択		×				×						欠	×	×	○	○	○	○	○	×			×				○	×	○	○	議	
適格請求書等保存方式（インボイス制度）の2割特例及び8割控除の継続に関する意見書の提出について	不採択		×				×						欠	×	×	○	○	○	○	×				○				○	×	○	○	議	

- ★1 賛否は、賛成（○）と反対（×）で掲載しています。
○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、欠：欠席、議：議長
- ★2 略記している会派の名称
「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団、「市民ク」は市民クラブ、「市み」は市民のみかた
- ★3 議長の賛否は、可否同数につき議長裁決を行った場合のみ掲載しています。

ホームページで議案書を公開しています。 11月定例会提出議案 ⇒ 

【継続審査となった案件】

「飯島老人いこいの家の廃止の中止または廃止までの期間延長について」の請願1件と「八橋老人いこいの家、飯島老人いこいの家、大森山老人と子どもの家及び雄和ふれあいプラザの廃止方針の見直しと老人福祉事業の充実について」の陳情1件を継続審査としました。

※継続審査とは…議案等の審査に当たり、さらに調査する必要があるなどとして会期中に審査を終了できない場合、委員会からの申し出により、会期終了後も引き続き審査を行うことをいいます。

意見書を提出しました | 秋田市議会の意見として、次の意見書を秋田県に提出しました。
○小・中学校給食費の完全無償化を実現するための財政支援に関する意見書

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目(PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



スタジアム整備
事業所税の課税要件喪失

自民党
工藤 知彦

◇スタジアム整備◇熊対策◇
財政◇除排雪◇空き家対策◇
北部地区再生可能エネルギー
工業団地の整備◇雄和ふれあ
いプラザの廃止

問 課題が多いとされているASPスタジアムの改修について、改めて検討する必要があるのですか。

答 スタジアム整備については、ASPスタジアムの改修も視野に、多くの方が一定程度納得し得る検討を行うことが必要と判断したものであり、このたびの検討では、地下埋設物を残したまま最大で約9千席程度に改修できることなどが判明しました。一方、整備費用は、新設とほぼ変わらないことに加え、国の交付金等の有利な財源の活用面でも新設に優位性があることなども把握でき、新設と改修の両方を検討したことは十分意義があったものと捉えています。

問 令和8年度途中での事業所税の課税要件喪失による減収を見込んでいますが、その補填についてどのような見通しているのですか。また、新規財源の確保に向けた取り組み状況はどうですか。

答 課税要件を喪失した場合、7年度の税収約15億円に対し、8年度は約4億円減の11億円となり、9年度以降は見込まないものです。それに対し、地方交付税では、減収分全てが補填されるものではないと捉えています。そのため、事業見直しによる歳出抑制に加え、新たにネーミングライツを導入するなど、財源確保の取り組みを進めていきます。さらに、次期総合計画で設定する「(仮称)プラスの循環戦略」において、民間企業が「稼ぐ」ための環境づくり等を行うことで、本市の税収増につなげていきたいと考えています。



スタジアム経営の収支
仁井田児童館の早期改築

秋水会
佐藤 宏悦

◇スタジアム◇外旭川地区のまちづくり◇人口減少社会への対応◇中心市街地の活性化◇熊対策等◇農業◇今冬の除排雪◇仁井田児童館

問 スタジアムの経営に係る収支シミュレーションは実施したのですか。

答 新設と改修の比較検討に当たっては、整備費用のみならず、運営に係る収支も重要な評価項目と認識しており、維持管理にかかる費用について試算を行うとともに、収入についても、公設で整備する場合の施設使用料などを試算したところ、5千人規模の新設で、維持管理費は年間約1億円となる一方で、収入はこれまでの実績を基に試算すると年間約3千万円程度であり、その差額である約7千万円を何らかの方法で補填あるいは捻出する必要があると見込んでいます。

問 仁井田児童館について、早期改築に向けた検討を進めるとの見解が示されましたが、その後の検討状況はどうですか。また、改築はいつ頃を予定していますか。

答 同館については、厳しい財政状況や公共施設保有量の見直しの観点から、建て替えに加え、大規模改修や、仁井田小学校の空き教室の活用による児童室化の手法も含めて比較・検討を行った結果、トータルコストが最も縮減できる大規模改修の手法が適切と整理したところ、同館は建物や設備の老朽化が著しいことから、子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、早期に着手したいと考えています。



仁井田児童館

■ 請願・陳情について

請願書・陳情書は、趣旨を具体的に記載し、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに、持参、郵送またはオンラインにより議長宛てに提出してください。

ご不明な点は、議会事務局議事課までお問い合わせください。

詳細はホームページにも掲載しています。⇒

電話 018(888)5784



本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。



クマ被害の食い止め
ハンターの負担軽減

フロンティア秋田
ふなき 船木 純

◇熊対策◇スタジアム整備◇
マラソン大会を通じた交流人
口の拡大◇市役所駐車場にお
ける混雑時の対応

問 クマの被害を食い止めるため、やぶ刈りや樹木の伐採によるゾーニング作業に自衛隊を投入するよう、県に働きかける考えはありませんか。

答 本市では、県と陸上自衛隊第9師団との協定に基づき、箱わなや駆除したクマの運搬、ドローンによる情報収集の支援を受けたところですが、クマの通り道となる川岸のやぶ刈り等については、本市を含めた複数の自治体が県に要望したものの対象にはならないとの回答でしたが、今後、自衛隊からの支援を受ける際には、改めて県へ働きかけていきます。

問 ハンターが使用した銃弾の購入費、箱わなに仕掛ける餌代、車の燃料代など、出勤に要した実費は、本市が負担するべきではありませんか。

答 鳥獣被害対策実施隊への活動報酬は、捕獲活動への出勤経費に加え、銃弾や燃料代、餌代などを含んだものとなっております。令和7年度からは、捕獲した個体の解体作業に対しても別途、報酬を新設したところであります。また、クマの出没に伴う出勤が過去最多となっていることを受け、隊員への負担を考慮し、11月1日から出勤報酬を増額したところであります。しかしながら、隊員の待遇については十分とは言えないと認識しているため、報酬の増額等について、引き続き国の支援内容や他市町村の状況を見据えながら、適切に対応していきます。



秋田駅西口周辺の活性化
災害ケースマネジメント

公明党秋田市議会
まきの 牧野 守

◇市長の政治姿勢◇地域経済の活性化◇災害時の市民に寄り添った支援：ほか

問 建物の老朽化や空き店舗が目立つ秋田駅西口周辺の現状を市としてどう捉えていますか。また、物価高による消費活動への影響が懸念される現状を踏まえ、秋田駅西口周辺の活性化に向けてどのように取り組んでいくのですか。

答 秋田駅西口周辺エリアでは、居住人口の増加等のほか、空き店舗等への出店者に対する本市補助制度の利用も増加傾向にあります。また、同エリアは本県の交通の拠点であり、商業の中心であるほか、本市の豊かな日常を象徴する場所であると捉えており、引き続き、県都の玄関口にふさわしい景観の形成や都市機能の集積に取り組んでいきます。一方で、各商業施設は物価高騰等により客足が落ち込んでいるため、大型商業施設が連携して実施する販売促進事業に対して支援したいと考えており、11月定例会に関連する補正予算案を提出したところです。

問 被災者の住まいや生活上の不安といった複合的な悩みに対し、伴走型で生活再建を後押しする災害ケースマネジメントについて、支援機関や専門家との連携体制の構築に向けた取り組みの状況はどうですか。

答 令和5年の豪雨災害では地域支え合いセンターを設置し、部局横断による復興支援チームとの支援体制を強化しました。同センターでは、3千711世帯を対象に、延べ1万1千727件の戸別訪問を実施し、把握した相談内容を復興支援チームと共有し、秋田弁護士会や地域包括支援センター等と連携して被災者支援に取り組んでおり、今後もきめ細かな相談支援や連携体制の構築に努めていきます。

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）およびホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

2月定例会の本会議は、2月10日、20日、24日、3月4日、17日に開催予定です。

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目(PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



答 次世代モビリティは、温室効果ガスの排出軽減が期待されることに加え、交通空白地の解消などといった観点からも将来的に有望な先端技術であり、今後、需要も増大していくと認識

問 再生可能エネルギーの導入適地という特性を生かし、eVTOL(空飛ぶクルマ)やeモビリティといった次世代モビリティの研究開発拠点等を誘致し、再エネ関連産業とともに豊富な再エネを生かした新たな産業を育成する考えはありますか。

◇市長の政治姿勢◇行財政運営と財源確保◇再生可能エネルギーを生かした新たな産業の育成◇子どもたちの笑顔が輝く秋田市へ◇歩いて暮らせ、観光できる魅力的なまちへ◇公共交通と新しいモビリティ◇デジタル時代の行政運営とAI活用◇安全安心な暮らしと災害対策◇市政への関心を高める取組



新たな産業の育成
子どもの事故予防の推進

そうせいと維新
わかまつ なおとし
若松 尚利

してきます。本市では、地域の豊富な再生可能エネルギーを生かし、先進的技術の研究開発拠点等の誘致も目指すこととしており、次世代モビリティ分野を対象業種の一つとして、誘致の可能性を探っていきたくと考えています。

問 子ども事故予防推進AWARDへの参加により得られた知見を踏まえ、今後の受賞を目指し、子どもの事故予防に向けた新たな取り組みを実施する考えはありますか。

答 このたびの子ども事故予防推進AWARDへの参加は、本市の幼稚園や小・中学校、家庭など、各場面でさまざまな事故予防対策が行われていることを確認する好機になったと捉えています。今後は、参加した他の自治体も参考にするなど、引き続き、子どもの安全・事故予防の推進に努めていきます。



スタジアム整備
千秋公園の魅力向上

市民クラブ
やすい せいえつ
安井 誠悦

◇スタジアム整備◇熊対策◇中心市街地の活性化と千秋公園の魅力向上

問 今後、県およびブラウブリッツ秋田と協議することですが、スタジアム整備のスケジュールに遅れが生じ、J1クラブライセンスの不交付という事態にはなりませんか。

答 スタジアム整備のスケジュールについては、これまで遅れは生じていませんが、目標としている2031年8月までに整備するためには、令和8年度中の設計着手が必要と見込まれることから、早期に事業主体や費用負担などの結論を出せるよう、整備に向けた協議を三者で進めていきたくと考えています。



問 千秋公園について、城址公園としての魅力をより一層高めるため、かつての正式な登城門である黒門の復元と初代藩主佐竹義宣公の銅像の設置を検討してはどうですか。

答 千秋公園は、久保田城址として本市を代表する城址公園であり、歴史的建造物の整備は重要だと認識しています。一方で、来園者の利便性向上やにぎわい創出などの観点から、既存駐車場の更新などを優先する必要があります。黒門の復元に着手するまでには時間を要すると考えています。また、銅像の設置は現時点で考えていませんが、義宣公の功績を顕彰することは価値のあるものと捉えており、リニューアルオープンした佐竹史料館では、義宣公や佐竹家に関する歴史資料を展示・紹介しています。こうした取り組みを通じて、引き続き千秋公園の魅力向上に努めていきます。

■本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しています。傍聴されている方も映る場合がありますのであらかじめご了承ください。

また、議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。



3つの無償化の実現時期
スタジアムの整備主体

市民のみかた
佐藤 哲治

◇市長の政治姿勢◇熊対策◇スタジアム整備◇児童生徒の健全な育成◇外旭川地区のまちづくり◇森林整備◇地域医療◇終活支援◇市職員の待遇改善とハラスメント◇公共施設の使用料◇リン資源化◇安全で住みよい秋田市の実現に向けて

問 市長が選挙公約とした保育料、子どもの医療費、学校給食費の完全無償化は、いつ実現するのですか。

答 保育料の無償化には年間約5億円、子どもの医療費の無償化には年間約4億円の財源が必要になることから、慎重に検討を進めているところですが、これらは無償化は、市長の任期中において、順次実施していきたいと考えており、今後、実施時期等を検討していきます。また、学校給食費の無償化には、小・中学校合わせて年間約14億円の財源が必要になります。現在、国において、令和8年4月

からの小学校における給食無償化を目指し、具体的な制度設計の検討を始めており、本市としては検討の状況を注視しつつ、無償化の準備を進めていきます。

問 スタジアムは、ブラウブリッツ秋田が主体となつて整備すべきではありませんか。

答 スタジアムは、ブラウブリッツ秋田が主体となつた民設民営を含め、さまざまな整備手法があることから、今後の県およびブラウブリッツ秋田との協議の中で整理されていくものと認識しています。スタジアムの整備や維持管理に公費を支出する場合には、その必要性や妥当性を市民の皆さまからご理解いただけるよう、市として説明責任を果たすのはもちろんのこと、その大前提として、財政運営上も持続可能なものでなければならぬと考えています。



石井大智投手の表彰
ふれあい交流館かわべ

自民党
熊谷 重隆

◇市長の政治姿勢◇スポーツ振興◇防災◇洋上風力発電◇地方独立行政法人市立秋田総合病院◇農業◇地域の諸課題

問 本市出身であり、プロ野球阪神タイガースの中継ぎエースとして、50試合連続無失点の新記録を達成した石井大智投手を表彰してはどうですか。

答 本市が行う表彰には、「秋田ふるさと市民賞」があり、秋田市表彰規則に基づき、芸術、文化、スポーツなどの分野で市民の誇りとなる卓越した活躍をし、広く市民に親しまれ、市民に喜びと希望を与え、市民にも、本市の名声を大いに高めた個人もしくは団体を表彰するものです。本市関係者の中には、石井投手をはじめ、各分野で活躍されている方々がいるため、そうした方々を含めて、表彰のタイミング等も考慮しながら適切に判断していきます。

問 JR和田駅との複合施設であるふれあい交流館かわべは、令和6年から空調設備が故障しており、公共施設としての機能を十分に果たしていないことに加え、職場環境としても好ましくないことから、早急に改善すべきではありませんか。

答 ふれあい交流館かわべは、JR和田駅を核とした河辺地域における交通の拠点として、多くの皆さまから利用いただき、設置から22年が経過しました。空調設備は型式が古く、令和6年に修繕が困難と指摘されたことから、簡易なファンヒーターやスポットエアコンなどを設置し、臨時的な対応を行っています。また、受変電設備についても更新時期を迎え、空調・受変電設備を一体的に更新する必要がありますと判断したことから、早期の実施に向けて、その手法や費用対効果も含め、検討を進めています。

議会の動き	11月25日	各派会長会議 議会運営委員会	1月9日	編集委員会	1月22日	総務委員会教育産業委員会 連合審査会（閉会中）
	28日	11月定例会 (12月23日まで)	20日	議会運営委員会視察 (1月21日まで)	29日	総務委員会（閉会中） 全員協議会
	12月23日	各派会長会議	22日	厚生委員会（閉会中） 建設委員会（閉会中）		

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目(PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



市長が目指すまちの姿 地域自治活動への支援

秋水会
小木田喜美雄
こぎたきみお

◇市政経営に対する市長の基本姿勢等◇令和8年度当初予算と今後の行財政運営◇公共施設の再編◇物価高騰対策における重点支援地方交付金の活用◇市民サービスの提供◇スポーツ振興◇地域自治活動への支援

問 市長就任から半年が経過しましたが、これまでの市政運営を踏まえ、本市の重要課題をどう捉え、どのようなまちを目指そうとしているのですか。

答 市長就任以来、市民の皆さまと対話をしながら市政運営に当たっており、対話を重ねる中で、人口減少対策と持続可能な社会の実現に取り組むことが本市の重要課題との認識を新たにしました。こうした認識の下、「プラスの循環」という新たな考えを盛り込んだ次期総合計画の策定を進めているところですが、また、とりわけ若い世代の定着につなげるため、若者の挑戦

を後押ししていくなど、本市の未来をともにつくるまちを目指すこととし、次期総合計画の基本理念にその姿を示していきます。

問 防犯灯の設置等について、事業スキームの現状と課題をどう認識していますか。また、課題に対しどのように対応していますか。

答 本市では、町内会の要望に基づき、市が防犯灯を無償で新設し、電気料金の80%を限度に助成金を交付しています。この仕組みは、住民主体の防犯活動を支えるものとして機能している一方で、限られた財源から助成金を交付しているため、前年度と比較して交付額が減額となる場合があります。また、申請手続きが負担であるとの意見も寄せられており、今後の課題と認識しているため、事業スキーム等を再検討し、町内会支援の在り方についても見直しを進めていきます。

各常任委員会の審査から

総務委員会

総務部、企画財政部、デジタル化推進本部、会計課、消防本部などの所管事項

委員 秋田市火災予防条例の一部改正は、林野火災に関する注意報の発令等について定めようとするものですが、条例改正に至った背景は何ですか。

消防本部 現行の消防法には火災警報を発令し、火の使用制限を課すことで火災を予防する制度がありますが、罰則規定が伴うため、全国的にも発令した事案が少なく、予防の実効性に乏しいものでした。こうした中、令和7年2月に岩手県大船渡市で発生した大規模な林野火災を受け、国において検討を行った結果を踏まえ、本市においても発令のハードルを引き下げ、林野火災の予防について実効性を高めるため、罰則を伴わない注意報の規定等を追加することとしたものです。

教育産業委員会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 秋田市大森山動物園条例の一部改正において、年間パスポートの料金を当日券1千円の2.4倍に相当する2千400円と設定した理由は何ですか。

観光文化スポーツ部 年間パスポートの料金については、平成14年度の導入当初と同様の比率としたものであり、全国の公立動物園においても、価格帯として2千円から2千499円、当日券に対する比率として2倍から2.99倍が多い傾向にあったことから、それらも参考に2千400円と設定したものです。



大森山動物園

予算決算委員会各分科会の審査から

教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 飲食店応援消費喚起ポイント還元事業については、市内の飲食店を支援するため、キャッシュレス決済によるポイント還元事業を実施しようとするものですが、紙によるプレミアム付き商品券の発行ではなく、コード決済のシステムを利用する方式とした理由は何ですか。

産業振興部

同事業について

は、令和4年度に実施したプレミアム付き商品券発行事業と比較し、事務費が抑えられることに加え、既にコード決済を導入している店舗を対象とすることにより、換金作業や店舗登録等が不要となり、飲食店の事務負担も軽減されることから、コード決済のシステムを利用する方式としたものです。



建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員 千秋公園ツキノワグマ出没防止対策事業については、園内の樹木伐採や雑草木の除去に加え、24時間監視可能な自動撮影カメラを設置しようとするものですが、同カメラの整備費100万1千円の内訳はどうですか。また、設置したカメラでクマが撮影された場合、どのような対応するのですか。

建設部

自動撮影カメラ

の整備費用の内訳は、設置するカメラ6台の購入費が67万円、通信機器レンタル料およびAI画像解析機能のライセンス料が33万1千円です。また、クマが撮影された場合には、担当課や職員に情報が送信されるようになっているおり、警察への通報をはじめ、公園利用者や周辺施設へ速やかに情報提供を行うことにより、安全確保を図っていくこととされています。

2月定例会のお知らせ（予定）

日程

2月10日	本会議
20日、24日	本会議「代表質問」
25日	常任委員会
26日、27日	分科会
3月3日	常任委員会
4日	本会議「一般質問」
5日	常任委員会
6日、9日	常任委員会・分科会
10日、11日	
13日	常任委員会
17日	本会議

代表質問予定者

会派（4人以上所属の会派）を代表して質問します。

- 伊藤一榮（秋水会）
- 安井正浩（自民党）
- 工藤新一（フロンティア秋田）
- 佐藤佳人（公明党秋田市議会）
- 菊地格夫（そうせいと維新）

一般質問予定者

- 後藤良（フロンティア秋田）
- 奈良順子（日本共産党秋田市議会議員団）

次回のあきた市議会だよりは令和8年5月1日発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会などを傍聴できます。日程、代表および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

広告

私たち一般社団法人終活協議会が提供する心託（しんたく）サービスは、入院中の買い物や通院への付き添い、安否の見守り、入院手続き、介護施設探し、身元保証といった生前サポートから、葬儀、納骨、相続のための公正証書作成といった亡くなった後の手続きまで、すべてを一つの窓口を通じて対応しますので、生涯を通じて頼りにして頂けます。

まずは、心託でお手伝い出来ることをまとめた資料をお送りします。

資料をご請求頂いた方には、終活に役立つエンディングノートも一緒にお届けしますので、ぜひ将来への準備にお役立てください。

資料請求はお電話で **無料**

お申込番号 **2017 050-1881-9570**

受付時間 10:00~17:00(年中無休)

資料請求でエンディングノートを **無料プレゼント**



サービス詳細・料金をこちらの資料でご案内します

入会金：1万円(税込)/身元保証：死後事務などの各種サービスは、入会金とは別料金となります。※月額年会費無料/資産開示不要。代金のお支払い方法は銀行へのお振り込みとなります。お振り込み手数料はお客様のご負担となります。お客様の氏名、住所などの個人情報は、弊社サービスのご案内・資料のご送付以外には使用いたしません。

一般社団法人 終活協議会 想いコーポレーショングループ
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨2-11-4 第3高橋ビル11F
会社TEL: 0120-111-859

広告



相続



評価額



施設入居



転居

不動産の売却は ミサワホームへ

相続した不動産のご相談が増えています

無料査定&無料相談実施中

※一部対応外のエリアもございます

●宅建業免許/国土交通大臣(9)第3827号 ●(公社)秋田県宅地建物取引業協会会員

住まいを通じて生涯のおつきあい

MISAWA

東北ミサワホーム 秋田支店

〒010-0916 秋田市泉北1-7-11 018(824)1111

[不動産課] **0800-300-6330** 不動産サポート秋田

受付時間 9:00~18:00(定休日:火曜・水曜・第1日曜日)

